



明野ふくろう便



明野中央病院広報誌

日本医療機能評価機構 認定病院

vol.21

新年のご挨拶

院長 木下 昭生



新年明けましておめでとうございます。旧年中は明野中央病院をご利用いただきましてありがとうございます。心より御礼申し上げます。

昨年の国内外の出来事を振り返ってみますと、キーワードは、「信頼」という二文字ではなかったかと思えます。2020年のオリンピックは、各国の圧倒的支持を得て東京に決まりました。富士山の世界遺産登録も含め、日本という国が世界各国の信頼を得たからだと思います。海外に目を向けると、元CIA職員のスノーデン氏がテロ対策としてアメリカが極秘に大量の個人情報収集していることが暴露されました。ドイツのメルケル首相の電話を盗聴していたことも明らかになりました。大国アメリカの信頼が揺るいだ事件でした。一方、国内の政治では、自民党の安倍内閣が国民の

信頼を得てねじれ国会を解消し、アベノミクスで円安、株価の上昇をもたらしました。しかし、他の国から信頼を得るためには秘密の保持も重要なようで、尖閣問題や防空識別圏など隣国を信頼できなくなった日本は、日本版NSCや秘密情報保護法案などを急いで整備せざるを得ない状態となりました。オリンピック誘致で大活躍した東京都知事も、医療機関からの大金の流れが不透明とのことで都民の信頼が一気に低下し、辞任に追いやられました。次々と一流ホテルのレストランのメニューの偽装問題が発覚し、一流ホテルの看板に傷がついたのも昨年の出来事でした。

医療の世界でも降圧薬の論文の偽装問題で製薬会社や大学の臨床研究への信頼が低下し、有床診療所の火災で高齢者の入院が多い医療機関の火災対策が決して万全ではないことが明らかになりました。医療制度の面でも、社会保障費の増大から医療費の抑制政策がとられることが多く、病院や施設から退院して在宅で治療を受けるといった流れが顕著になっており、医療への信頼が崩れかねない由々しき事態となっております。診療報酬の改定の議論の折、医師の給料が高すぎるので診療報酬は下げるべきだとの低俗な議論に終始したのは残念でし

た。診療報酬は決して医師の報酬を決める指標でも何でもなく、診療報酬のマイナス改定を行うと患者さんへのサービスの低下(リハビリや入院日数の制限、医療機関へのアクセスの制限等)につながり、一番被害を受けるのは患者さんだということをマスコミはなぜ報道しないのでしょうか。来年こそは、いろんな意味で信頼ができる社会になってほしいと思います。

当院は昨年11月、早川一光先生をお招きし健康セミナーを開催したところ、地域の多くの皆様に参加していただきました。一昨年に続き、明野クララ元気ツアーを実施し、リウマチ患者さんの北海道旅行にスタッフが同行しお手伝いさせていただきました。また、地元自治会、子供会の皆様に病院東側駐車場裏の壁に見事なウォールアートを描いていただきました。さらに、ホームページをリニューアルし、ブログで院内の最新トピックスを紹介できるように工夫しました。今年もますます地域の皆様との「絆」を大切にしたい病院を目指していきたいと思っております。皆様にとって今年が素晴らしい有意義な一年になることを祈念して新年のご挨拶とさせていただきます。



3Dプリンターで「実物大骨モデル」を作製

人工関節の手術「先進医療」で更に安全確実に

膝の関節の軟骨がすり減って慢性的な炎症が起き、動かすと痛みなどの症状が出る変形性膝関節症。重度になると歩行が困難になる場合もあるこの疾患に対して、膝に人工関節を入れる「人工膝関節置換術」という手術があります。当院では、この手術を行う時、患者さんの膝の骨を忠実に再現した立体模型を作り、手術前にその模型を使ってあらかじめ手術のシミュレーションを行うという取り組みを昨年から導入しました。

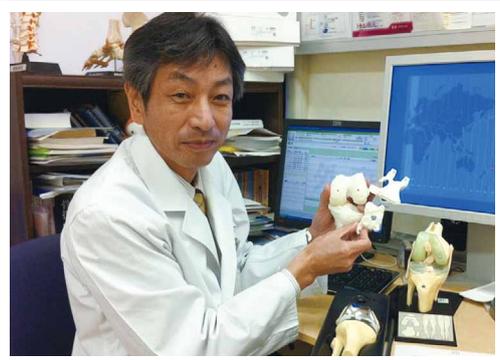
この模型は、患者さん一人ひとりのCT（コンピュータ断層撮影装置）のデータによる3次元画像を基に3Dプリンター技術を駆使して作られた合成樹脂製の「立体骨モデル」です。具体的には、病院内で撮影したCTデータを基に、担当医が3次元画像を作成する専用のコンピュータソフトを使用して「立体骨モデル」の設計図をコンピュータ上で作ります。その設計図のデータをインターネットを経由してアメリカのメーカー

に送り、そこで作られた3Dプリンターによる合成樹脂製の模型が当院に送られてきます。この模型を使い、執刀医ははじめ手術室スタッフは、膝の骨の「切る位置、角度、削る量、深さ、方向など」を手術前に手にとりて確認することができます。実際の人工関節をどの位置にどのように埋め込むかも、手術前に極めて正確に確認することができます。

このように前もって手術のシミュレーションができるおかげで、難易度の高い手術でも安全性や確実性が格段に高まり、手術時間も短縮、患者さんの身体的負担も軽減できるなど、医療スタッフと患者さんの双方に大きなメリットをもたらしています。この手術の方法は、「実物大臓器立体モデルによる手術支援」という名称で厚生労働省より「先進医療」として指定されています。このたび当院のこの取り組みが、本年1月1日付けにて、大分県内で初めてこの先進医療の認定を受けました。



▲ 3Dプリンターで作成された「立体骨モデル」手術の正確なシミュレーションが可能です。



▲ 4つの白い模型「立体骨モデル」を持つ、つづ・かんせつ・リウマチセンター長の藤川陽祐医師。科学技術の進歩が患者さんのメリットにつながっています。

お近くを通る際は楽しい“ウォールアート”をぜひご覧ください!



第10回

院内研究

発表会を開催

11月23日(土)院内研究発表会が行われました。病院内の各部署や各医療チームが、それぞれの研究や取り組みについて発表するもので、年に1度の大イベントです。近隣の医療機関の方々もお招きして審査にも加わってもらいます。

今年も10チームがエントリーし、それぞれ素晴らしい発表が行われました。発表の準備は大変ですが、医療の質、患者さんの安全・安心の向上につながるこの取り組み今後とも続けていこうと思います。



▲栄えある最優秀賞は「術後DVT診断を目的としたスクリーニング閾値としてのD-dimer値の検証」を発表した「深部静脈血栓チーム」。おめでとう！

第5回

明野中央病院

健康セミナー

11月24日(日)明野中央病院健康セミナーを開催しました。今年は89歳現役、京都の名物医師「わらし医者」早川一光先生の講演会をあけのアクロスタウンにて約500名のお客様を集めて行いました。

90分にわたり歌や踊り、ユーモアを交えての講演は、まさに圧巻でした。笑ったり感心したりジーンと来たりで、お客様は大満足だったのではないでしょうか。是非またお目にかかりたいですね。



▲公演中の早川一光先生
年齢を感じさせない講演は会場のみなさんに元気を与えていました。

病院駐車場外壁にウォールアートが出現

病院の東側駐車場の壁に、旭町の自治会、子供会が力を合わせて「壁画」を描きました。病院としては壁を提供しているだけで、企画・制作は全て自治会長を中心とした明野旭町の方々です。アーティストは小学生から大人まで、モチーフはゆるキャラから吉四六さんまでとてもにぎやかです。12月21日には除幕式も行われ、当院の職員も参加しました。まだ完成ではないそうですが、描いたみんなが集まったの記念式です。寒い中皆さんお疲れさまでした。近くを通る際は楽しい「ウォールアート」ぜひご覧下さい。



▲除幕式の様子
多くの人達が力を合わせた力作です。

ウォールアートの一部をご紹介します





外来担当医師のご案内



担当医師名		月	火	水	木	金	土
内科	院長 木下 昭生	午前	○	○	○	○	○
		午後					休診
	内科部長 西宮 実	午前	○	○	○		○
		午後		○			休診
	宮崎 眞理	午前	○				○
		午後	○				休診
科	諸鹿 柚衣	午前					
		午後		○			休診
	梅木 健二	午前					
		午後			○		休診
	森永亮太郎	午前					
		午後				○	休診

担当医師名		月	火	水	木	金	土
整形外科	副院長 中村英次郎	午前	○	○		○	○
		午後			○ 15:30~		休診
	こひ・かんせつ・リウマチセンター長 藤川 陽祐	午前	○	○	○		○
		午後				○	休診
	整形外科部長 井口 竹彦	午前					
		午後	○	○			○ 休診
形成外科	原 克利	午前		○			
		午後					休診
	橋本 二郎	午前					
		午後			○		休診

INFORMATION



診療科目

内科・消化器内科・リウマチ科
整形外科・形成外科
リハビリテーション科
麻酔科・放射線科



受付時間

月曜日～金曜日 8:30～11:30
14:00～17:30
土曜日 8:30～11:30
日曜日・祝祭日 休診

病院理念

医療・介護を通じ、
患者さんの生活の質の向上に努める

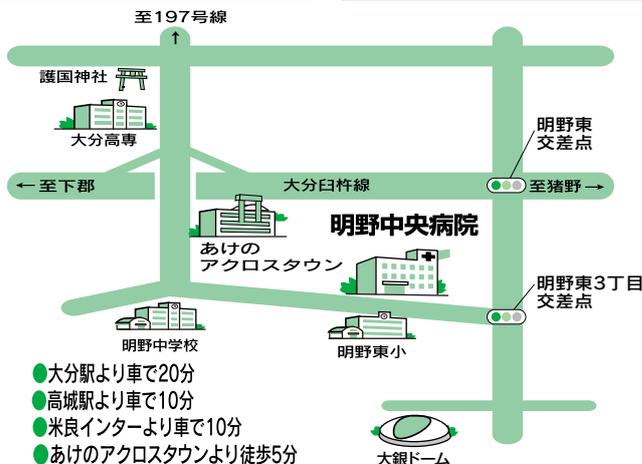
基本方針

- 一、家庭的な優しい医療・介護の実施に努めます
- 一、地域の皆様から安心・信頼される病院づくりに努めます
- 一、患者さんひとりひとりの権利を尊重するように努めます
- 一、たえず医療・介護の質の向上に努めます
- 一、地域の健康増進・病気の予防に努めます

患者さんの権利について

私共は、患者さんの権利に関するリスボン宣言を遵守致します

1. 平等で最善の医療を受ける権利
2. 安全に医療を受ける権利
3. 治療を自由に選択し自己で決定する権利
4. 治療内容を知る権利及び知らないでいる権利
5. プライバシーが守られる権利
6. 他の医師や第三者の意見も聞き納得して治療を受ける権利（セカンドオピニオン）



医療法人社団 唱和会



明野中央病院

日本医療機能評価機構 認定病院

発行日 2014年1月

〒870-0161 大分市明野東2丁目7番33号

TEL 097-558-3211(代表) FAX 097-558-3709

E-mail akenohp@fat.coara.or.jp

http://www.akenohp.jp/